

重要なお知らせ!

タカタ製エアバッグのリコールが未改修の場合 車検が通らない対象車が5月より拡大されます!

国土交通省では、タカタ製エアバッグのリコール改修を促進するため、未改修車両を車検で通さない措置の対象車両を令和2年5月1日より順次拡大します。

1. 背景

タカタ製エアバッグについては、異常破裂し、金属片が飛散する不具合が発生しているため、平成21年以降、総台数2,106万台(令和元年11月末時点)のリコールを実施しております。

加えて、これらのリコール対象車のうち、特に異常破裂する危険性の高い車両であって未改修のものを対象に平成30年5月1日より、車検で通さない措置を講じております。

その対象は、①エアバッグの製造管理が不適切であったもの又は②国内で異常破裂したエアバッグと同じタイプであって生産から9年以上経過したものを搭載した車両としております。

今般、当該措置の開始から時間の経過とともに、国内で異常破裂したエアバッグと同じタイプを搭載した車両について、新たに生産から9年以上経過したものがあること等から、これらを順次、車検で通さない措置の対象と致します。

2. 措置の概要

施行日までにユーザーに対して改修の必要性について周知している、平成30年4月以前にリコール届出されているものであって、次の未改修車を対象範囲として、令和2年5月1日より車検を通さないこととします(令和元年11月末時点で対象台数約24万台)。

①エアバッグの製造管理が不適切であったもの

②国内で異常破裂したエアバッグと同じタイプを搭載し、平成25年4月1日より前に製作された自動車
(=生産から9年以上経過したエアバッグを搭載した自動車)

以降、上記と同様の考え方で未改修車両を自動的に車検停止の対象とします(令和元年11月末時点で対象台数約26万台)。

なお、現時点で対象としない未改修車両についても、不具合事例を収集し、危険性が高いと判断した場合には対象に追加します。

3. ユーザーへの周知

当該措置の対象自動車メーカー等では、措置拡大に伴い、周知用のリーフレットを作成しております。

つきましては、会員事業場へ配布(1事業場2部配布)いたしますので、ユーザー向け説明の際等にご活用いただき、リコール改修促進にご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。